
■ さろん | Mail News 2018/12/15 | #128 ■ 【読み物号】

ご案内不要の方はお手数ですがこのメールにそのままご返信ください。

哲学カフェ及び関連イベント情報をお送りします。みなさんの興味・関心の一助としていただくとともに、今後とも「さろん」を応援いただければ幸いです。

なお、このメールニュース掲載のコラム等は執筆者の個人的な考えを表したものです。

会や専門領域における統一見解や事象を扱っているものではありません。予めご了承ください。

=====Vol.128 2018年12月15日(土)=====

さ | ろ | ん |

— | — | — |

M | a | i | l | N | e | w | s |

— | — | — | — | — | — | — |

<http://salon-public.com/>

(バックナンバーはHPからご覧いただけます)

<https://twitter.com/salontetsugaku>

<https://www.facebook.com/salontetsugaku/>

=====

INDEX

- | 【1】 ふくろう広場 (会からのお知らせ)
- | 【2】 (今月おやすみ) ゆるカフェ
- | 【3】 コラム/エッセイ
- | ◇『平成最後の年末に時の流れについて思う』
- | 【ご案内】《さろんラボ》
- | 【4】 コトバをハーバリウムする
- | 【5】 さろんアーカイブの遊歩道
- | 編集後記

CONTENTS

【1】 会からのお知らせ

ふくろう広場

きょうのいまごろは、中目黒のアンダーザマットで第100回の記念例会をしていることとおもい

ます。そして、終了後はさろんを応援してくださる Good Neighbors のみなさんとのアフターパーティー。

幸いかつ恐縮なことに申込みを多数いただき、満席のためにご参加をおことわるせざるを得ない事態となりました。

せっかく「この機会」にお申込みいただいたのに、スタッフ一同申し訳なくおもっています。一期一会をたいせつにしながら、それでもまた別の機会でお会いできることを心から楽しみにしています。

師走でお忙しいとは思いますが、来週には本年ラストのさろん催事、「クリパ」があります。残席わずかですが、よろしければぜひこちらもご検討ください。

シンプルに「楽しい」を。
和やかで「おいしい」を。
手づくりの「おもてなし」を。
そして実行委員長の「パーティー魂」を。

このあいだのさろんのスタッフ MTG で、新しい語釈がうまれました。レジュメにメモしてあります。

パリピ＝「パーティーをちゃんとやる人」。
どうです、ウェーイ感ゼロ。ストロ○グゼロ！
すごく真面目なお人柄が伝わってきますよね。
気になる方、お時間のある方、ぜひ遊びにいらしてください。

なにより、来年のさろんのアクティビティにもご参加ください。
<http://salon-public.com/>
お「楽しみ」に。

【特別企画】毎年恒例

さろんクリスマスパーティー2018 (残席わずか!)

街がクリスマスのイルミネーションに染まってきました。2018年、そして平成の年末最後を飾るさろんのクリパはまだまだ参加を受け付けています。一緒に、食べて、飲んで、ゲームでワイワイ楽しんで、今年の嫌なことを忘れて、なごみながらお喋りしましょう。

毎回ご参加の常連さんも、久しぶりのリピーターさんも、最近さろんにデビューを果たした新人さんも、このクリパが初めての飛び入りさんも、皆さま熱烈大歓迎です♪

・日 時 : 2018年12月22日(土) 13:00 から 17:30 まで
(途中入場、途中退席も可能です)

- ・場 所 : COS下北沢 (<http://cosfa.main.jp/access/index.html>)
- ・参加費 : 2,000 円/人程度
- ・定 員 : 15 名程度
- ・お願い : 持ち寄りパーティーとなります (飲み物とケーキ等は弊会が準備します)。何か食べるものを2~3人分程度の分量を一品ご持参下さい。
- ・予 約 : 大好評受付中です♪
- ・申し込み: salontetsugaku@gmail.com までどうぞ

※内容が一部変更となる場合もあります。

※詳細は、申し込まれた方に詳細を別途メールにてご案内差し上げます。

みなさんのご参加を、スタッフ一同心よりお待ちしております。

さろんクリパ実行委員長 堀越

【2】ゆるカフェ

今月はおやすみ: また1月にお会いしましょう

毎月恒例のゆるカフェ枠。

年末業務多忙のため、こんげつはお休みです。

代わりに (?), よければクリパにいらしてください。(なんて)

2019年はずっとフレキシブルに、もっとゆるく、
融通無碍かつ勝手気儘にやれたらとおもいます。

どうぞよろしくお祈いします。

(せりざわ)

【3】コラム/エッセイ

▽【平成最後の年末に時の流れについて思う】 一生

▽【平成最後の年末に時の流れについて思う】 一生

ついに師走である。実を言うと筆者は、近年は時の速さを切実に実感していて、半年も前から「この調子ではもうすぐに年末になってしまいそう」と周囲に触れ回っていたのだが、そうこう言っている裡に本当にこの時期が来てしまった。毎年この時期になるとこの一年の中で我が身に起きたことを振り返り、あれを反省したりこれを喜んだりしている。それを一通り終わると次には、来年の幸せを願い、心機一転また一から努力したいと考え始めて、清々しい気持ちで新年を迎えるために、大掃除をしなくては! という強迫観念に追われている。

今日の時間の捉え方として、直線的時間観念および円環的時間観念の二つが世界にあると言われるようである。直線的時間観念は、主に西洋世界においてキリスト教等の世界観と結び付く。時間は過去から未来へ一直線に進むものとして捉える。始まりがあり終わりがある。過去の失敗を振り返り原因を特定して改善すれば、未来はより良い方向へ向かうという考え方に通じる。円環的時間観念は主に東洋世界において、仏教等の世界観と結び付く。時間は、永遠に循環するものとして捉える。始まりも終わりもない。所謂死んだ後で再び生まれ変わっていくという輪廻思想にも通じる。

筆者には時間というものが良く分からない。ただ、特に米国人との付き合いが長い経験から年末の時期に関する実感がある。彼らは家族やカップルでクリスマスを祝い、来年も幸福な一年をと祈るが、今年の区切りを付けて新年を気持ち良く過ごすため、その年の中に家を大掃除して清める感覚はあまりないようである。日本人が今年起きた嫌な出来事を汚れに見立てて大掃除する様とは対照的である。平成から新元号へ。戌の次は申。干支は巡り、循環する。日本の元号や干支は円環的時間観念に通じているのであろうか。さて。来週は、皆様の心の大掃除のために、弊社クリスマスパーティーが場を開く。

—— 【ご案内】 ——

《さろんラボ》

名称：【さろんラボ】

コーディネーター：【堀越】

- ・哲学カフェを自分で開きたいけど、どうしたらいいか分からない…。
- ・読書会を自分で主催したいけど、自信がなくて…。

そんなときこそ「さろんラボ」がお力になります。さろんラボでは、みなさまの「やってみたい」を核に、さろんを触媒にして、どんな化学変化が起きるかを試みる場です。

ご参考までに、このラボからは、さろんの参加者の手で、以下の二つの活動がうまれました。

【さろんラボ 001】 「あたまの中を散歩するてつがくカフェ」

<http://sanpo-tetsugaku.jimdo.com/>

【さろんラボ 002】 「哲学カフェ Ante-table/アンティ・テーブル」

<http://ante-table.wix.com/ante-table>

既存の哲学カフェのカタチに限定せず、みなさんの中で温まっている関心事やご興味を添えて、どうぞお気軽に下記までご連絡下さい。

みなさんとの新しい化学変化を、スタッフ一同心から楽しみにしています。

▽詳細はこちらまで salontetsugaku@gmail.com (担当：堀越)

本のコトバから

施設慣れた人間ってのがどんなものかは、前にできるだけ詳しく話したつもりだ。最初は狭い四方の壁にがまんできなかつたのが、やがてそれと折り合いをつけるようになり、つぎにそれを受け入れるようになる……やがて、体と頭と精神が、鉄道模型のような縮尺の世界に順応し、それが好きになる。いつ食事するか、いつ手紙を書けばいいか、いつタバコをすえばいいかも、むこうで教えてくれる。

(中略)

おれはムショにもどろうかと考えはじめた。仮釈放中の身だから、なにをしたってもどれる。恥ずかしい話だが、金を盗もうか、それともフードウェーの品物を万引きしようかと考えはじめた。なんでもいい、あの静かな場所、一日のあいだに起こることが前もってぜんぶわかっているあの場所へ帰れるなら。

——スティーヴン・キング 『刑務所のリタ・ヘイワース』 「ゴールデン・ボーイ」収録

歌のコトバから

Fitter, happier, more productive,
comfortable,
not drinking too much,
regular exercise at the gym (3 days a week),

もっと健康に、もっと幸せに
より生産的で快適な暮らし
酒は嗜んでも呑み過ぎず
ジムに通って定期的な運動を (週3回を推奨)

(中略)

concerned (but powerless),
an empowered and informed member of society (pragmatism not idealism),
will not cry in public,
less chance of illness,
tires that grip in the wet (shot of baby strapped in back seat),

世の中に関心を寄せ続け (だけどそれを変える力は持たず)
自己効力感を持ち情報に通じた、社会の一員たれ (理想主義ではなく現実主義で)
人前では感情的にならず
疾病リスクは最小限に抑え
濡れた路面にも安心なタイヤを履く (チャイルドシートに収まった赤ん坊の写真)

——Radio Head 『Fitter, Happier』 (作詞：GREENWOOD JONATHAN/RICKWOOD DAN/YORKE THOMAS)

——【5】——

さろんアーカイブの遊歩道 #31 (楠)

カテゴリ：【さろんメールニュース No.43 コラム『空白を満たす問い』】

配信日： 2014年12月1日

http://salon-public.com/wp-content/uploads/2014/12/43_Mail_News_20141201.pdf

「今年も今年が終わる」という一見するとトートロジーにしか見えない言い回しを「今年も」使いたくなる季節になった。「今年が終わる」と言うときの「今年」と「終わる」には実質的には切れ目がなく、ワンフレーズで年の瀬に感じる感慨を表している。だから正確には「今年も「今年が終わる」と感じる時期になったなあ」と言う方が正確なのかもしれない。

年中ネタ探しはしているけれど、僕のパソコンにはコラムにも SNS の投稿にもなれないまま眠り続けている文章(歌詞や閃きや愚痴や効果音の書き殴り、場合によってはそれらを素材とした闇鍋)が溜まっている。何故そうなるかという書き始めのテンションが書いているうちに下がり続け、何を書きたかったのか、そもそも何かを書きたかったのかも分からなくなってしまうからに他ならない。と、ここまで書いたところで彫刻家アルベルト・ジャコメッティの言葉を思い出す。

「私とモデルの間にある距離はたえず増大する傾向をもっている。「もの」に近づけば近づくほど、「もの」が遠ざかる。」*1

見えるものをそのまま表現することができない。考えたことをそのまま表現できない。だから外出先で気付いたことをスマートフォンのメモ帳に書き留め、嬉々として自宅で文字起こしした際に感じる違和感と失望感は尋常ではない。でもこうやって書くこととそれなりに真剣に向き合っている(そう信じたい)ことには、日々の生活に係る諸事を慌ただしくこなすだけでは得られない解放感が伴っている。書けばお金が貰えるわけでもなく、誰に褒められたいわけでもなく、ただある種の純粋さに近づけている気がするからだろうか・・・

*1：国立新美術館『ジャコメッティ展』

http://www.nact.jp/exhibition_special/2017/giacometti2017/

編集後記

メールニュース第 128 号をお届けします。
今号の後記はフクロウです。

てつがくカフェでは問いを立てて適切に問うことやよく考えることを推奨します。年間 12 回はさろん哲学があるので最低限でも 1 2 の問いがあると思うのだけど、1 年を通して見たときに、はっきり覚えている問いはもっと少ないです。

問いに限らず、じぶんが書いたコラムや原稿であっても、やっぱり全部は覚えていられません。老化でしょうか。いいえ誰でも。(某ACのCF、あるいは金子みすゞ)

ほかの方とはともかく、じぶん自身の場合、コラムや問いを憶えていられないケースでの原因は、それが空白を「埋める」ための行為だったからで、覚えているものは、空白を「満たす」ものだったから。という風に考えます。(あくまで主観です)

外回りの最中に栄養補給のためだけに食べたマックのハンバーガーは単なる摂取ですが、たとえば 100 回記念例会のアフターパーティーやクリパの食事にはもっと豊かな意味があるかもしれません。

さて。まもなく「今年」が幕を下ろし、2019 年という新しい空白が訪れます。
みなさんはこの空白を満たす、持続力のあるどんな問いを用意されるでしょうか。
今月のさろんの活動が何かの刺激になったらいいなと思います。もちろん来年の活動もそうであつたらいい。
重要なのは今年と来年の分断線に過敏になりすぎることなく、じぶんの中で線を引き、じぶんのための問いを立てることだから。
というわけで来月の、また新しい空白を「満たす」航路へと向かう次第です。

Season's Greetings ☆彡

それではまた次号でお会いしましょう。
編集: (フクロウ)

さろん | Mail News 2018/12/15
⇒次号 (1 月 1 日頃発行予定)

さろん Mail News 第 128 号 / 2018 年 12 月 15 日発行【読み物号】
編集・発行: さろん
salontetsugaku@gmail.com

<http://salon-public.com/>

<https://twitter.com/salontetsugaku/>

<https://www.facebook.com/salontetsugaku/>

- ◇ 「さろん」にお知らせいただいたお名前・メールアドレスなどの個人情報は、
当会からのご案内のためだけに使用いたします。
また、ご本人の同意なく第三者への提供はいたしません。
- ◇ 「Mail News」の無断転載はご遠慮ください。転載ご希望の場合はご連絡願います。
バックナンバーはHPからご覧いただけます。
- ◇ 【Twitter】 <https://twitter.com/salontetsugaku>
- ◇ 【Facebook】 <https://www.facebook.com/salontetsugaku/>
- ◇ 【ホームページ】 <http://salon-public.com/>
 - 「さろん哲学」 Web サイト <http://salon-public.com/tetsugaku/>
 - 「朝さろん」 Web サイト <http://salon-public.com/asa/>
 - 「さろん工房」 Web サイト <http://salon-public.com/koubou/>



"copyright (c) 2011-2018 さろん. All rights reserved."
